

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室を使用する際に十分なスペースがあるか	○			定員に対し跳び箱等の器具を設置しても十分に活動できる環境設定している。
	2	職員の配置数は適切であるか（指導員3名以上）	○			指導員3名の他児童発達支援管理責任者を配置した受け入れ態勢を整えている。
業務改善		業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々より良い療育支援提供のために計画書更新時期には個別支援会議を行っている。
		保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			質の良いサービスに繋ぐために今回を含め2回アンケート集計を行った。
		この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			初めての公開になります。
		第三者による外部評価の為にある、千葉県運営適正委員会の役割を理解し、事業所内の目のつく位置に掲示しているか	○			事業所内に掲示した上で重要事項説明書にも記載し利用契約時にも周知している。
		職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			千葉県放課後連絡協議会の他、運動・学習に特化した研修にも参加している。船橋市の放課後デイサービス連絡協議会にも所属している。
適切な支援の提供		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画書に基づき定期的にサービスの実施状況を確認している。
		子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			持っている強みや個性を主としたストレンクスと安全面・意思伝達等の表現方法・感情面の情報収集を行っている。
		活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			今後保育士の他歯科衛生士等の多職種連携したチームを目標にしていきます。
		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間活動計画をもとに毎月異なるプログラムと都度多種多様の教材を用意している。
		平日、休日、長期休暇に応じて、課題を未通しを立てやすくメニューを設定して支援しているか	○			視覚情報を中心とした情報を具体的かつ作業や活動の指示をスモールステップ方式で行っている。

	子どもの状況に応じて、個別、小集団、集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			困り感やその生徒の状況を客観的理解に基づいた支援が行えるように作成している。
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			一日の予定に加えて情報を共有すべき内容をチームで共有している。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後は記録作成に時間を要している為振り返りを翌日に行っている。
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			一人ひとりの個性を客観的に理解につながるように客観的に誰が見てもわかるような記録作成を目標にしている。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月一回を目安に個別支援計画に基づいてサービス実施内容を評価している。必要に応じて計画の変更も検討している。
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ地域に根差して支援を行っているか	○			子どもの最善の利益を考慮しながら人権意識も深め、障害の有無関わらず生活を主とした自立支援に注力している。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者もしくは管理者が会議に参画している。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			管理者もしくは児童発達支援管理責任者、送迎担当制度を設けて施設運営にもしくは会議に参画している。
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	受け入れ実績なし。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	児童連絡票を通じて情報の共有を行っている。必要に応じて助言を得ている。
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	事業所の移行実績なし。
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童連絡票を通じて情報の共有を行っている。関係機関主催の研修にも参加している。
	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後自立支援協議会にも参加できる機会を模索していきます。

	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳の他に、家庭訪問を調整したり、送迎時に情報共有するなど家庭連携に努めている。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ご家庭での困り感を減らせるように見通しをもった生活支援の為に助言や対応の手助けを行っている。
保護者への説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			千葉県運営適正化委員会の情報提供に加えて事業所内にも情報掲示している。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			月の利用受け入れ予定時に個別相談会の予約を取るなど適切に対応できるよう相談体制に努めている。
	子どもや保護者からの苦情があった場合、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者を配置し対応している。転送電話機能で営業時間外も対応している。
	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護に関する同意書を取り交わした上で十分注意して対応している。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚情報やクローズドクエスションや具体的に伝わりやすいよう対応している。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時の避難所マップや感染症等に係るマニュアルや日常から感染症対応のために歯科衛生士配置し歯磨きに注力している。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			ビル全体で定期的に避難訓練の他消火器の扱い方を消防署の協力を得て行っている。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止責任者研修に管理者が参加し、伝達研修を行った。
	やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	事業所内で身体拘束に係る利用者の受け入れ実績なし。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか			○	事前調査書にて把握しているが、施設提供の食物はなく、お弁当対応です。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で共有して再発防止に努めている。

平成30年3月実施内容